

# 底版を持たない自立式擁壁工法。 施工現場を選ばず、しかも経済的。

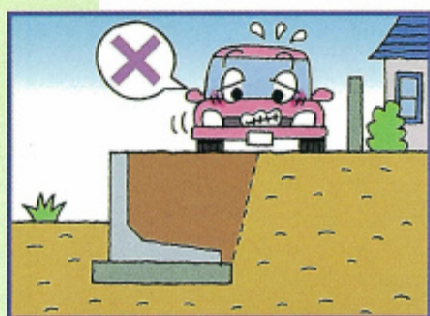
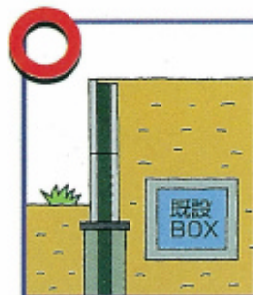
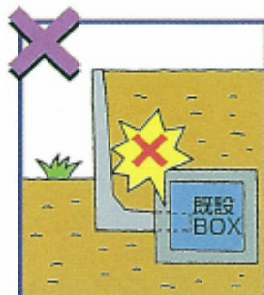
(土木用小構造物)

特徴

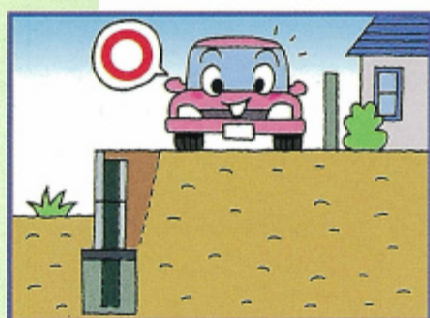
1

掘削幅の取れない現場で有効です。

L型擁壁にはフーチング(底版)があり、既設構造物等の障害物があると、施工ができませんでした。また将来、下水管等を埋設する場合、フーチングが邪魔になってしまう場合もありました。フーチングレス・パネル工法なら、道路下占有空間が確保できます。



掘削したら車が通れないよ!  
工事中は通行止めに  
しなくちゃいけないね



フーチングレス・パネル工法なら  
通行止めにしないで工事ができる  
んだ!!これなら工事中、近隣の皆  
様に最低限の迷惑で済みそうだね



掘削幅が小さいと発生土も抑制できるんです。フーチングレス・パネル工法は環境にも優しい工法なんですよ。

施工実績 1



ネットの支柱などの地中障害物がある現場でも、FP工法ならラクラク施工ができる(千葉県浦安市舞浜「浦安運動公園」)